| 学校番号 | 416 |
|---|---|

# 令和３年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 世界史Ａ　新訂版　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な世界史の知識をしっかりと習得し、その知識をもとに思考・判断し、自らの行動を客観的に理解し考え行動することのできる力を身に着けさせる。歴史の中からヒントを得て、主体的に考え判断し行動できる人材を育てる。ICT を積極的に活用し、生徒の理解を深める。グループワークなどを定期的に用い、生徒の主体性・判断力・表現力を養う。

教科書の本文と資料をもとに、それぞれの地域・時代の特性を自ら思考・判断・表現し、世界史の知識・理解を深めて自分の歴史観を持てるように育てる。

今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

## 2　学習の到達目標

基礎的な世界史の知識をしっかり習得し、産業革命以降の近現代史を中心とする世界の歴史を，我が国の歴史と関連付けながら理解し，人類の課題を多角的に考察することによって歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる力を養う。

自らの知識をもとに、自分の行動を客観的にみることのできる思考力・判断力を身につけ、社会に生きる一員として自らがとるべき行動を選択することのできる力をつける。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。 | 世界の歴史から課題を見いだし，文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。 | 世界の歴史についての諸資料を収集し，有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現する。 | 世界の歴史についての基本的な事柄を，我が国の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている |
| 評価方法 | 授業態度<br>ノート<br>プリント集 | 定期考査<br>授業プリント<br>小テスト | 定期考査<br>授業プリント<br>小テスト | 定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## ４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期 | 近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動 | 19 世紀の世界の一体化と日本 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b: 上記について特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 上記に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d: 上記についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント<br>取り組み |
| 二学期 | 地球社会と日本 | 二つの世界大戦<br>第二次世界大戦後の世界と日本<br>現代の世界 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題、人類の生存と環境、世界の平和と安全などに対する関心を高め、意欲的に追究している。<br>b:上記問題と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:上記関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:上記についての基本的な事柄を、人類の生存と環境、世界の平和と安全の問題と関連付けて理解し、知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | ユーラシアの諸文明と交流 | 西アジア・イスラーム世界<br>ヨーロッパ世界<br>南アジア・東南アジア世界<br>東アジア・内陸アジア世界<br>ユーラシアの交流 | ○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a: ムスリムの支配領域としての「イスラム世界」の歴史的由来に対して主体的な関心を持つことができる。<br>b: 文明の起源を考察し、四大文明の流れを整理して理解。<br>c: 地図を参照して，アレクサンドロスの遠征がヨーロッパのみならず，西アジアや中央アジアにどのような影響を与えたかについて，考察できる。<br>d: 文明の起源を考察し、四大文明の流れを整理して理解。<br>文明の交流を対立・衝突と見るのではなく相互理解・刺激・融合の観点で理解 | 定期考査<br>授業プリント |
| | 結びつく世界と日本 | 世界の一体化の第一歩<br>ルネサンスと宗教改革<br>ヨーロッパの主権国家体制 | ○<br>○<br>○ | | | ○<br>○<br>○ | a: 大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンスや宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>d: 上記についての基本的な事柄を、世界商業の進展などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント |
| | | アジアの繁栄と世界 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: アジアの諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b: 上記の特質を見いだし、ヨーロッパ諸国の進出と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 上記に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などに纏めたりしている。<br>d: 上記についての基本的な事柄を、これらの地域へのヨーロッパ諸国の進出と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | |

※　表中の観点について　a: 関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。